



平成24年9月13日

OPRTプレスリリース

「10月10日はまぐろの日」シールデザイン決定

OPRT(社)責任あるまぐろ漁業推進機構は、9月7日(金)、選考委員会(構成:OPRTの会員の生産、流通、消費者団体、及び、業界紙関係者、学識経験者計11委員)を開催し、10月10日まぐろの日のシールデザイン」最優秀作品を決定した。

「デザイン」は、7月1日から8月31日まで、全国で募集したが、北海道から沖縄まで45都道府県から、977作品の応募があった。応募者は、5歳から87歳まで、幅広く、いずれも力作で、「予備選考」を経て、3次にわたる選考の結果、遠藤麻衣さん(20歳、専門学校生、相模原市在住)の作品が、最高得点を獲得し、最優秀作品(別添)に選定された。遠藤さんには、賞金10万円と最高級刺身クロマグロ2キロが贈呈される。

(表彰式は9月19日(水)14:00~15:00OPRTで行う。表彰式後、インタビューの時間も設けてあります。参加希望の方はOPRTにご連絡ください。)

当日、優秀作品(賞金5万円+ミナミマグロ2キロ)2点、佳作(賞金3万円+ミナミマグロ・メバチマグロ詰合せ2キロ)3点も選定、また、参加賞(メバチマグロ1キロ)当選者50名も抽選で確定した。

OPRTは、会員の協力を得て、10月1日から10日、全国で刺身まぐろキャンペーンを予定しているが、選定された「まぐろの日」シールデザインを、全面に打ち出し、ポスター、パンフレット、シールなどに活用することになっている。

OPRT事務局は、「実質、2ヶ月という短い募集期間にもかかわらず、全国から約1,000通もの応募をいただき、反響の大きさに驚いています。また、マグロが日本人に極めて関心の高い魚であることも実感しました。広い世代の方々に親しみが持たれ、ストレートにまぐろの日を印象づけることなどを考慮の前提として、選考委員の皆様にも長時間にわたり真剣にご検討をいただきました。応募作品は、力作ぞろいで、選定は容易ではありませんでしたが、最優秀作品は、「まぐろの日復活」(注)を強く、かつ優しく印象づけるもので、すばらしい。今年のキャンペーン等で使用し全国に「まぐろの日」の浸透をはかりたい。」と述べている。

OPRTは選定された作品を、OPRTの所有として商標登録するが、利用の希望があれば、無償で提供することとしている。なお、選定作品は、OPRTのホームページ(www.oprt.or.jp)でも公表する。

注) 1986年、日本鯉鮪漁業協同組合連合会(日かつ連)により創設。日かつ連の後身の日本鯉鮪漁業協同組合(日かつ漁協)とともに、OPRTはその復活に取り組んでいます。

(問合せ先) (社)責任あるまぐろ漁業推進機構
事務局長: 田端 事業部長: 人見
TEL: 03-3568-6388
Eメール: hitomi@oprt.or.jp

別 添



データ必要な方はご連絡ください